

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52 (19)	洗濯洗剤等が利用者の手の届く位置にあり、危険を伴う可能性がある。	利用者様が危険を伴う箇所をなくし、安全な環境を作る。	洗濯洗剤の保管場所を含め、危険を伴う箇所がないか、再度点検し、危険物を手の届かない箇所、鍵付きの倉庫に入れ、職員が管理する。	1ヶ月
2	10 (6)	行事レクリエーション等での、利用者様の姿をタイムリーに報告できていない。	希望の親族様に写真、画像等での近況報告を行う。	現在、定期的に写真、施設発行の新聞等を渡し、報告している。定期的な報告に加え、希望者には、個別に写真、画像等の近況報告を行う。 電子メール利用については検討していきたい。	1ヶ月
3	20 (8)	ご親族様に、利用者様の食事形態等、現状を見ていただく機会が少ない。	家族の方に、施設で昼食を一緒に食べていただき、利用者様の現在の状況をみていただく機会を提供する。	毎年12月に開催しているニチイまつりの際、ご案内し昼食を一緒に食べる機会を作る。今後も家族会、行事レクリエーション等を開催する際、ご案内し定期的に家族様と食事する機会を作っていく。 又、来所時希望されれば食事をして頂く事ができるようにし、家族様に説明していきます。	4ヶ月
4	33 (12)	重度化・終末期における支援の取り組み、職員の心のケアについて、理解不足な面がある。	重度化・終末期における支援、職員の心のケアを理解し、職員一同支援体制を構築する。	職員に対し、アンケートを取り、現在の職員の考えを理解した後、職員の心のケアを含めた勉強会を行う。10月に開催されるGH部会での終末期ケアについての研修会に参加し理解を深める。年一回、重度化・終末期における勉強会を行う。	4ヶ月
5	26 (10)	介護計画において利用者本人の生きがいや生きる目的を見つけ出す観点が不足している。	利用者様本人の生きがい、生きる目的がある介護計画書を作成する。	支援している日常生活の中で、利用者様本人の言動、行動の中より、生きがい、生きる目的を見つけ出せるような観点を関わらせていただく。家族様にも意向、要望を定期的に聞き取り、話し合いを行い、生きがい、生きる目的を取り入れた介護計画書に見直す。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。